

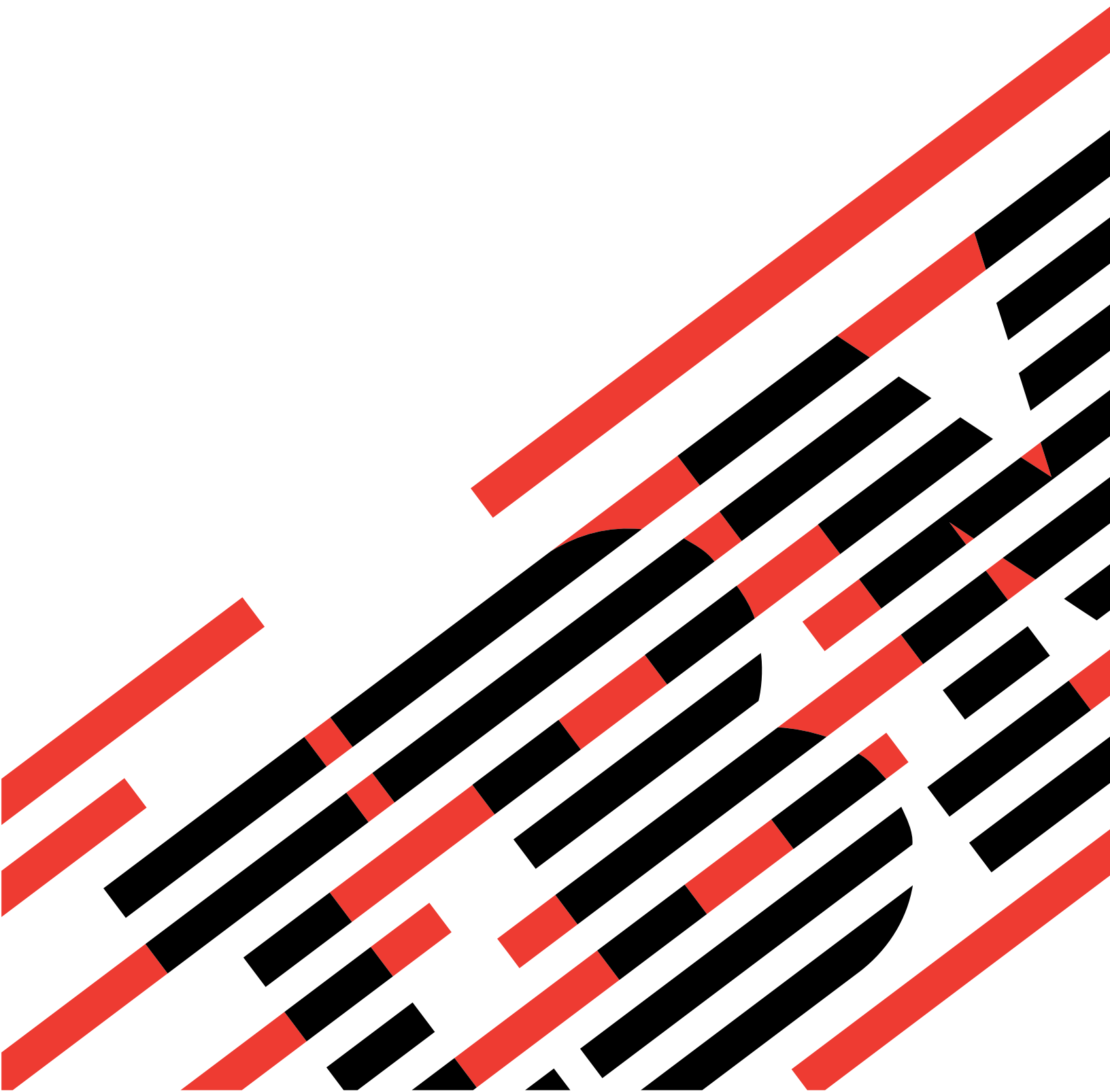
IBM

@server

iSeries

すべての待機プロセッサの活動化

バージョン 5 リリース 2





@server

iSeries

すべての待機プロセッサの活動化

バージョン 5 リリース 2

© Copyright International Business Machines Corporation 1998, 2002. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

目次

すべての待機プロセッサの活動化 1

すべての待機プロセッサの活動化

Capacity Upgrade on Demand (CUoD) によって、選択サーバー・モデルの 1 つ以上の中央処理装置を動的に活動化できるようになります。 Capacity Upgrade on Demand で使用可能になっているサーバーからアップグレードする場合に、活動化されていない待機プロセッサがあれば、ソフトウェアまたはサーバーをアップグレードする前に、それらのすべてのプロセッサを活動化する必要があります。

注: モデル 890 での特定のプロセッサ・アップグレードを実行する場合、アップグレードの前に、すべてのプロセッサを活動化する必要は必ずしもありません。詳細については、iSeries Hardware Web サイトを参照してください。

すべての待機プロセッサを活動化する場合、 Information Center の待機プロセッサの永続的活動化のトピックの手順に従ってください。

このトピックの PDF 版を表示またはダウンロードするには、 すべての待機プロセッサの活動化 (約 133 KB) を選択してください。

アップグレードに関係した他のトピックを表示または印刷するには、トピックの印刷を参照してください。

ここまでで、プロセッサの活動化は終了です。これでカスタマイズしたアップグレード・タスク・リストまたはすべてのアップグレード・タスクのリストに戻ることができます。



Printed in Japan